

# 進路指導部だより 第8号

令和4年3月11日(金)発行  
東京都立八王子西特別支援学校  
校長 井上 美保  
〒193-0834  
八王子市東浅川町546番1号  
TEL 042-666-5600(代)

発行元：進路指導部 担当：中島 拓洋 URL <http://www.hachiojinishi-sh.metro.tokyo.jp>

## 御理解・御協力いただきありがとうございました。

今年度も進級、進学そして入社、入所の季節が近づいてまいりました。一年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、進路見学等の予定を変更せざるを得ない状況の中、児童生徒は予定の変更を受け入れ落ち着いて過ごすことができました。一年間、保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。

## 【高2進路見学 報告】

1月28日(金)実施予定の高等部2年生進路見学は、直前まで学校と施設双方で見学の準備をしてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながらすべての施設訪問を中止とし、3班に分け学校での代替授業に変更しました。

見学予定のいちょう工房東浅川、あけぼの事業所、併設のグループホームは動画・写真撮影の協力、町田通勤寮はオンラインで参加していただきました。

1班は施設で行われている作業の紹介や、校内の落ち葉拾い、ボトルのラベル剥がし・ゴミ分別など体験的な学習、2班は事前に訪問したときの、ビデオや写真を見て、施設職員のお話を解説や用務主事室や企画室を訪問して用務・事務職員にインタビュー、仕事内容について聞き取り、3班は、施設と学校間にオンラインを設定し、「通勤寮の講義」を同時・双方向通信にて直接の対話型で、講義内容は、町田通勤寮での寮生活、健康管理や自炊の実習・金銭管理・買い物など単身生活での多岐にわたる内容で、全員が緊張感をもって聞き、質問も緊張しながらできました。

代替え授業の中で充実した進路学習になりました。



## 【中学部1年進路見学 報告】

作業所への進路見学が新型コロナウイルス感染拡大に伴いリモートでの実施となりました。前半は、利用者の方々が働いている様子を視聴しました。「レストラン」「パン工房」「食堂」「アイロンビーズ作り」「畑作業」など、具体的な作業を見ることで、将来の進路について、イメージを明確にすることができました。「どのような仕事をやりたいですか？」の質問に、「パン屋さんになりたい」「畑で作業をしたい」と次々と手が挙がりました。後半はスウェーデン刺しゅうに取り組み、室内作業の体験を行いました。これらの経験が今後の進路選択や自己決定につながってほしいと願っています。



## 【卒業後の生活の場について】

高等部2年生の進路学習では、例年グループホームや通勤寮の見学を行っています。高等部卒業後の進路については「就労先を決めること」「日中活動の場を決めること」に加えて、生活スタイルについて考えていくこととなります。

「家族と共に生活する」「一人暮らしをする」「グループホームに入居して、支援を受けながら、自立した生活を送る」など、さまざまな生活スタイルが考えられます。

ここでは、「グループホーム」「通勤寮」について御紹介したいと思います。

### 【グループホーム】(障害福祉サービス：共同生活援助)

社会福祉法人、特定非営利活動法人等が借り上げたアパート等で共同生活をする場を提供します。主に夜間において、入浴、排せつ、食事等の手伝いその他の日常生活上の援助を行います。戸建てタイプのグループホームも複数あります。世話人がいて、食事等の提供をします。



### 【通勤寮】(障害福祉サービス：宿泊型自立訓練)

居室その他の設備を利用させるとともに、家事等の日常生活能力を向上するための支援、生活等に関する相談・助言等の必要な支援を行います。通勤寮入寮の要件は、企業等に就労している知的障害者又は精神障害者で自立した生活を送ることを希望している方です(一人暮らし、グループホームなど)。基本的には2年間利用できますが、必要な方は延長できます(延長には審査がある)。都内に6か所あります。

具体的な支援内容は、就労定着支援、給料管理の練習(一定額を貯金し、退所後の生活資金とします)、家事(洗濯、掃除など)を計画的にできるようになるための支援、ビジネスマナー講座、親睦旅行、調理実習、通勤寮企画のイベントなど、さまざまな経験の中で、社会性を身につけるための支援をします。

